平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月30日

上場会社名　　八千代工業株式会社　　上場取引所　　東
コード番号　　7298　　ＵＲＬ　http://www.yachiyo-ind.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）辻井　元
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　　（氏名）川瀬　和昭　　ＴＥＬ　04-2955-1211

四半期報告書提出予定日　　平成25年11月13日　　配当支払開始予定日　　平成25年11月29日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	122,648	△4.2	3,364	△9.5	3,423	△2.7	984	△49.1
25年３月期第２四半期	128,080	10.9	3,716	636.3	3,519	563.5	1,934	―

（注）包括利益　　26年３月期第２四半期　6,098百万円　（143.0%）　　25年３月期第２四半期　2,509百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	40.99	―
25年３月期第２四半期	80.57	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	132,777	47,030	29.8
25年３月期	121,215	40,068	27.8

（参考）自己資本　　26年３月期第２四半期　　39,557百万円　　25年３月期　　33,738百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	10.00	―	10.00	20.00
26年３月期	―	11.00			
26年３月期（予想）			―	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	2.5	7,800	43.9	7,300	30.4	2,000	12.4	83.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
　　新規　ー社　（社名）ー、除外　ー社　（社名）ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有
　（注）詳細は、【添付資料】４ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：　無
②　①以外の会計方針の変更	：　有
③　会計上の見積りの変更	：　無
④　修正再表示	：　無

　（注）詳細は、【添付資料】４ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	24,042,700株	25年３月期	24,042,700株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	29,138株	25年３月期	29,138株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	24,013,562株	25年３月期２Ｑ	24,013,562株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

　この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは実施中であります。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

　業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

　なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

【添付資料】

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表等 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
第２四半期連結累計期間 …… 7
第２四半期連結会計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 12
（セグメント情報等） …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間の経済状況は、国内においては、輸出環境の改善や経済対策及び金融政策の効果が発現するなかで設備投資や個人消費は持ち直し傾向にあり、景気は緩やかに回復しつつあります。一方、海外においては、米国の景気は、財政問題への対応による影響が懸念されるものの、雇用環境の改善に伴う個人消費の増加を中心として緩やかな回復が続いております。アジア諸国の景気は、中国では、輸出は持ち直しつつあるものの、消費の伸びがおおむね横ばいとなるなど、拡大のテンポは緩やかなものとなっており、インドでは減速しております。その他のアジア諸国においては、内需を中心とした持ち直しの動きが緩やかになってきております。欧州主要国の景気は、財政緊縮や高い失業率などの影響はあるものの、下げ止まりつつあります。

このような情勢のもと、当社グループは、主要事業のＳ（営業）Ｅ（生産）Ｄ（製品開発）Ｂ（購買）機能の強化、海外拠点の体質強化及び販路の拡大、新規事業推進体制の充実、業務プロセスの改革と人材育成のさらなる強化に取り組んでまいりました。研究開発面では、製品の競争力を向上させるための新たな機構や新材料などを活用した製品開発の強化に加え、「先進技術と革新商品の継続的創造」を目的に、Ｓ、Ｅ、Ｄ、Ｂが一体となって部品事業の拡大に向けた主要製品の次世代技術の研究や、新規事業の参入に向けた製品開発のための体制の構築に取り組んでまいりました。その結果、一部で商品化を実現しております。生産面では、国内外の生産体質改革をさらに推進するとともに、市場拡大が見込まれるメキシコとインドネシアでの新拠点操業に向けた準備に取り組んでまいりました。

当第２四半期連結累計期間の売上高は、為替換算上の影響はあったものの、自動車部品及び自動車組立における受注の減少などにより、1,226億４千８百万円と、前年同期に比べ54億３千１百万円、4.2％の減収となりました。利益につきましては、原価改善効果や為替換算上の影響などはあったものの、減収に伴う利益の減少や研究開発費の増加などにより、経常利益は、34億２千３百万円と前年同期に比べ９千６百万円、2.7％の減益となりました。四半期純利益は、９億８千４百万円と固定資産売却益を計上した前年同期に比べ９億５千万円、49.1％の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

日本においては、自動車部品及び自動車組立における受注の減少などにより、売上高は、539億５千７百万円と前年同期に比べ180億２千６百万円、25.0％の減収となりました。経常利益は、原価改善効果などはあったものの、減収に伴う利益の減少や研究開発費の増加などにより、２千５百万円の損失となり、前年同期に比べ１億２千７百万円の減益となりました。

（米州）

米州においては、連結子会社であるヤチヨ　マニュファクチュアリング　オブ　アラバマ　エル　エル　シー（米国）、ユー　エス　ヤチヨ　インコーポレーテッド（米国）における受注の増加や、為替換算上の影響などにより、売上高は302億７千４百万円と前年同期に比べ64億１百万円、26.8％の増収となりました。経常利益は、増収に伴う利益の増加はあったものの、研究開発費の増加や平成25年11月に操業開始予定のヤチヨ　メキシコ　マニュファクチュアリング　エス　エー　デ　シー　ブイ（メキシコ）の操業準備費用などにより、２億１千２百万円と前年同期に比べ４億１千万円、65.8％の減益となりました。

なお、カナダ及び米国の連結子会社については、【添付資料】４ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（４）追加情報」に記載のとおり、第１四半期連結会計期間より決算日を12月31日から３月31日に変更しており、前第２四半期連結累計期間は平成24年１月１日から平成24年６月30日、当第２四半期連結累計期間は平成25年４月１日から平成25年９月30日であります。

（中国）

中国においては、連結子会社である八千代工業（中山）有限公司（中国）及び八千代工業（武漢）有限公司（中国）における受注の減少はあったものの、為替換算上の影響などにより、売上高は、96億５百万円と前年同期に比べ５億８百万円、5.6％の増収となり、経常利益は、11億８千３百万円と前年同期に比べ１億２千４百万円、9.5％の減益となりました。

（アジア）

アジアにおいては、連結子会社であるゴウシ　タンロン　オートパーツ　カンパニー　リミテッド（ベトナム）における受注の増加や、為替換算上の影響などにより、売上高は、288億１千万円と前年同期に比べ56億８千４百万円、24.6％の増収となりました。経常利益は、平成25年８月に操業を開始したピー　ティー　ヤチヨ　トリミトラ　インドネシア（インドネシア）の操業準備費用などはあったものの、為替換算上の影響などにより、22億２千４百万円と前年同期に比べ４億９千７百万円、28.8％の増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、1,327億７千７百万円と前年度に比べ115億６千２百万円の増加となりました。

増加した要因は、受取手形及び売掛金や現金及び預金の増加、また、為替換算レート差による円換算額が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、857億４千６百万円と前年度に比べ45億９千９百万円の増加となりました。

増加した要因は、支払手形及び買掛金や長期借入金の増加、また、為替換算レート差による円換算額が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、470億３千万円と前年度に比べ69億６千２百万円の増加となりました。

増加した要因は、為替換算調整勘定や利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有形固定資産の取得による支出52億９千６百万円などによる資金需要及び短期借入金の純減額20億７千４百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益33億７千８百万円、減価償却費44億８千３百万円及び長期借入金の純増額17億３千７百万円などにより、当第２四半期連結会計期間末における資金残高は127億８千５百万円となり、前年度に比べ34億２千５百万円増加しました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益33億７千８百万円及び減価償却費44億８千３百万円などにより、前年同期に比べ34億４千４百万円増加し、99億３百万円（前年同期は64億５千９百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより、前年同期に比べ21億８千６百万円増加し、68億３千３百万円（前年同期は46億４千６百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、長期借入金の純増額17億３千７百万円などがあったものの、短期借入金の純減額20億７千４百万円などにより、前年同期に比べ19億４千２百万円減少し、６億５千７百万円（前年同期は12億８千４百万円の収入）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の業績予想につきましては、平成25年４月26日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、たな卸資産の評価の方法について、従来、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により評価し、在外連結子会社は、主として先入先出法又は総平均法による低価法により評価しておりましたが、第１四半期連結会計期間より当社及び一部の国内連結子会社は、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）、一部の在外連結子会社は、先入先出法による低価法に変更しております。

この変更は、近年の原材料価格が短期間で変動している現状を勘案し、適正な棚卸資産の評価、期間損益計算を行うため、たな卸資産の評価方法の見直しを行ったものであります。

この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（４）追加情報

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、決算日が12月31日である連結子会社は、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりますが、このうちヤチヨ　オブ　オンタリオ　マニュファクチュアリング　インコーポレーテッド（カナダ）、ヤチヨ　オブ　アメリカ　インコーポレーテッド（米国）、ユー　エス　ヤチヨ　インコーポレーテッド（米国）、ヤチヨ　マニュファクチュアリング　オブ　アラバマ　エル　エル　シー（米国）、エー　ワイ　マニュファクチュアリング　リミテッド（米国）及びヤチヨ　インダストリー（ユーケー）リミテッド（英国）については、決算日を12月31日から３月31日に変更しております。これに伴い、当第２四半期連結累計期間においては、これら連結子会社の平成25年４月１日から平成25年９月30日までの６ヶ月間の財務諸表を連結しております。なお、平成25年１月１日から平成25年３月31日までの３ヶ月間の損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

３．四半期連結財務諸表等
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,728	13,358
受取手形及び売掛金	24,080	28,015
商品及び製品	1,380	1,253
仕掛品	2,314	1,386
原材料及び貯蔵品	4,739	5,386
その他	3,610	5,283
流動資産合計	45,853	54,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,187	49,819
機械装置及び運搬具	91,354	97,112
工具、器具及び備品	44,330	46,272
土地	19,562	19,797
建設仮勘定	4,790	4,858
減価償却累計額	△135,418	△143,831
有形固定資産合計	71,806	74,028
無形固定資産		
のれん	286	143
その他	581	900
無形固定資産合計	867	1,044
投資その他の資産	2,687	3,020
固定資産合計	75,361	78,092
資産合計	121,215	132,777

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,504	26,868
短期借入金	15,971	15,716
1年内返済予定の長期借入金	8,398	8,081
賞与引当金	1,863	1,889
その他	10,665	7,190
流動負債合計	60,403	59,746
固定負債		
長期借入金	12,496	14,662
退職給付引当金	6,826	7,234
役員退職慰労引当金	117	130
その他	1,303	3,971
固定負債合計	20,743	26,000
負債合計	81,147	85,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685	3,685
資本剰余金	3,504	3,504
利益剰余金	31,103	32,952
自己株式	△24	△24
株主資本合計	38,268	40,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193	270
為替換算調整勘定	△4,722	△829
その他の包括利益累計額合計	△4,529	△559
少数株主持分	6,329	7,473
純資産合計	40,068	47,030
負債純資産合計	121,215	132,777

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	128,080	122,648
売上原価	116,824	110,568
売上総利益	11,255	12,079
販売費及び一般管理費	7,538	8,715
営業利益	3,716	3,364
営業外収益		
受取利息	75	123
固定資産賃貸料	43	43
その他	97	156
営業外収益合計	216	324
営業外費用		
支払利息	196	235
為替差損	179	－
その他	38	29
営業外費用合計	413	265
経常利益	3,519	3,423
特別利益		
固定資産売却益	573	53
特別利益合計	573	53
特別損失		
固定資産売却損	3	4
固定資産除却損	96	69
特別退職金	9	25
特別損失合計	109	98
税金等調整前四半期純利益	3,984	3,378
法人税等	1,489	1,582
少数株主損益調整前四半期純利益	2,495	1,795
少数株主利益	560	811
四半期純利益	1,934	984

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,495	1,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	77
為替換算調整勘定	66	4,224
その他の包括利益合計	14	4,302
四半期包括利益	2,509	6,098
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,979	4,954
少数株主に係る四半期包括利益	530	1,143

（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結会計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結会計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （自　平成25年７月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	61,601	61,857
売上原価	56,325	55,713
売上総利益	5,276	6,144
販売費及び一般管理費	3,801	4,522
営業利益	1,474	1,622
営業外収益		
受取利息	40	62
受取配当金	0	38
固定資産賃貸料	21	21
その他	43	31
営業外収益合計	105	154
営業外費用		
支払利息	93	126
為替差損	104	126
その他	10	20
営業外費用合計	208	272
経常利益	1,371	1,503
特別利益		
固定資産売却益	24	11
特別利益合計	24	11
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	43	37
特別退職金	9	12
特別損失合計	53	51
税金等調整前四半期純利益	1,342	1,464
法人税等	589	733
少数株主損益調整前四半期純利益	752	730
少数株主利益	174	360
四半期純利益	577	370

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結会計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結会計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （自　平成25年７月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	752	730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	16
為替換算調整勘定	△1,845	419
その他の包括利益合計	△1,860	436
四半期包括利益	△1,107	1,167
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,066	793
少数株主に係る四半期包括利益	△41	374

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,984	3,378
減価償却費	3,671	4,483
のれん償却額	143	143
賞与引当金の増減額（△は減少）	△699	29
受取利息及び受取配当金	△79	△167
支払利息	196	235
有形固定資産売却損益（△は益）	△570	△49
有形固定資産除却損	96	69
売上債権の増減額（△は増加）	10,060	△1,647
たな卸資産の増減額（△は増加）	△146	1,804
仕入債務の増減額（△は減少）	△7,340	1,541
その他	△1,617	1,659
小計	7,698	11,479
利息及び配当金の受取額	79	172
利息の支払額	△210	△244
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△1,108	△1,504
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,459	9,903
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,461	△5,296
有形固定資産の売却による収入	947	130
その他	△132	△1,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,646	△6,833
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△472	△2,074
長期借入れによる収入	5,420	5,699
長期借入金の返済による支出	△3,936	△3,961
配当金の支払額	△240	△240
少数株主からの払込みによる収入	572	－
その他	△58	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,284	△657
現金及び現金同等物に係る換算差額	△93	1,044
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,003	3,457
現金及び現金同等物の期首残高	6,078	9,360
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	△31
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,082	12,785

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	71,984	23,872	9,097	23,125	―	128,080	―	128,080
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,615	9	253	89	―	3,967	(3,967)	―
計	75,599	23,882	9,350	23,214	―	132,047	(3,967)	128,080
セグメント利益	101	623	1,308	1,727	6	3,767	(247)	3,519

（注）１　セグメント利益の調整額△247百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	53,957	30,274	9,605	28,810	―	122,648	―	122,648
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,663	1	165	53	―	3,884	(3,884)	―
計	57,621	30,276	9,771	28,863	―	126,532	(3,884)	122,648
セグメント利益（又はセグメント損失）	△25	212	1,183	2,224	6	3,601	(178)	3,423

（注）１　セグメント利益の調整額△178百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２　報告セグメントの変更等に関する事項

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

カナダ及び米国（米州）、英国（その他の地域）の連結子会社については、第１四半期連結会計期間より決算日を12月31日から３月31日に変更しており、前第２四半期連結累計期間は平成24年１月１日から平成24年６月30日、当第２四半期連結累計期間は平成25年４月１日から平成25年９月30日であります。

前第２四半期連結会計期間（自　平成24年７月１日　至　平成24年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	34,418	11,664	4,557	10,961	―	61,601	―	61,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,782	0	41	23	―	1,846	(1,846)	―
計	36,200	11,664	4,598	10,984	―	63,448	(1,846)	61,601
セグメント利益（又はセグメント損失）	△232	272	689	723	3	1,456	(84)	1,371

（注）１　セグメント利益の調整額△84百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第２四半期連結会計期間（自　平成25年７月１日　至　平成25年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	27,135	14,500	5,436	14,784	―	61,857	―	61,857
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,604	1	84	33	―	1,723	(1,723)	―
計	28,740	14,501	5,521	14,818	―	63,581	(1,723)	61,857
セグメント利益（又はセグメント損失）	△96	△32	638	1,134	1	1,645	(141)	1,503

（注）１　セグメント利益の調整額△141百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２　報告セグメントの変更等に関する事項

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

カナダ及び米国（米州）、英国（その他の地域）の連結子会社については、第１四半期連結会計期間より決算日を12月31日から３月31日に変更しており、前第２四半期連結会計期間は平成24年４月１日から平成24年６月30日、当第２四半期連結会計期間は平成25年７月１日から平成25年９月30日であります。